

アパグループが最高層ホテルを買収 － ホテル2万室構想へ向け大きく躍進 －

ホテルとマンションを全国展開する総合都市開発のアパグループ(本社：東京都港区赤坂3-2-3 代表 元谷外志雄)は幕張メッセにスカイデッキで繋がる最高層ホテルである「幕張プリンスホテル」を今般、西武鉄道株式会社(東京都豊島区)から買収した。

「幕張プリンスホテル」は平成5年4月に開業。JR京葉線「海浜幕張」駅より徒歩5分、日本有数のコンベンションホール「幕張メッセ」に隣接する本ホテルは、45,717.45㎡の広大な敷地に地上50階、高さ180mの全室オーシャンビュー・1,001室の客室数を有するタワー棟を始め、3,000人収容の宴会棟・チャペル棟の3棟で構成された超高層複合タワー型シティホテル。設計は東京都新庁舎フジテレビ新社屋、国立屋内総合競技場(代々木体育館)等でも有名な世界的建築家・丹下健三氏。(施設概要は別紙のとおり)

西武鉄道株式会社は事業再構築の一環として資産売却を進めており競争入札により売却先を選定。外資系ファンド等応募する中、アパグループが優先交渉権を取得し契約締結の運びとなった。平成17年12月26日の所有権移転後もプリンスホテルとして運営されるが、平成18年7月1日にアパホテルが運営を継承、「アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>(仮称)」としてグランドオープンを計画している。

アパグループの当ホテルのメインコンセプトは、ディズニーリゾートまで3駅18分、成田空港、海に近い立地を活かし、光・炎・音楽が融合する温かみのある「高級海浜リゾート」としての機能を強めることにより、従来のビジネス需要に加え、インバウンド・観光・ファミリー等幅広い需要を取り組んでいく。

主なリバイバルプランは以下の通り。

- 日本最高層ホテル展望台の設置。(50階トップ・オブ・マクハリの先端部分を利用)
- 結婚式(日本最高層ホテルスカイチャペル46階)、宴会場(千葉県最大級3,000人収容)需要の増強。
- 大浴場・露天風呂等、温浴施設と高級エステ、アスレチックスポーツ施設等の導入。
- 観光とビジネスのチェックインフロアを分離し最上層部にエグゼクティブフロア、上層部にハイビジネスフロアを新設する。
- 全室高速LAN、ビデオ・オン・デマンド(洋画等24時間100ch・3ch無料)の導入。
- シングルルームのツイン化により収容人員の増加を図る。
- 飲食、物販等のテナントの導入強化。
- 国際空港成田への好アクセスの利点を活かしペットホテルの併設を検討。

本件買収によりアパホテルは全国54ホテルと15,112室(開発中含む)。本ホテルは、2008年度末2万室構想に向け、フラグシップホテルとして位置付けられる。

来年、創業35周年を迎えるアパグループのリゾート戦略としては、本年既に見込んでいる滞在型リゾート施設「アパリゾート妙高パインバレー」(500万㎡・新潟県妙高市)や「アパリゾート栃木の森ゴルフコース」(159万㎡・栃木県栃木市)と共に、定年を迎える「団魂の世代」のライフスタイルの変化に一早く対応し、従来のビジネス需要をターゲットとしていたビジネスモデルにリゾートの要素も加えることにより、多様化するニーズに対応する総合ホテル事業へのステージアップを図る。

お問い合わせ先

アパグループ東京本社 社長室 東京都港区赤坂3-2-3 TEL：03-5570-2113 FAX：03-5570-2137
--

※データ等をご希望の方はメールにて送信致します。